

# JICAベトナム事務所 月報

第173号（2023年12月-2024年1月号）  
2024年1月30日発行

本月報に関するご意見、ご要望は  
[vt\\_oso\\_rep@jica.go.jp](mailto:vt_oso_rep@jica.go.jp)までお送り下さい。

Website（日・越・英）：  
<http://www.jica.go.jp/vietnam/vietnamese/index.html>

Facebook（越）：  
<https://www.facebook.com/jicavietnam/>

発行：JICAベトナム事務所広報班

# 目次

## プロジェクト活動

- 2024 年ベトナム事務所長年頭挨拶 3
- 日越外交関係樹立 50 周年記念 訪日研修参加者との交流会を実施 4
- JICA・SATREPS プロジェクトでベトナム HIV／エイズ対策に寄与した 岡慎一・プロジェクトチーフアドバイザーが「国民健康貢献賞」を受賞 5
- 川崎フロンターレとコミュニティの健康増進を支援 6

## イベント

- 草の根技術協力事業「ハイフォン市下水処理場運転管理・浸水対応能力向上プロジェクト」の最終セミナーを開催 7
- 計画投資省とともにベトナムの中小企業振興への支援を実施 8

## 2024 年ベトナム事務所長年頭挨拶



JICA ベトナム事務所所長菅野祐一

2024 年の年頭に当たり、ご挨拶を申し上げます。昨年 2023 年は、日越外交関係樹立 50 周年の節目の年であり、ベトナム各地で両国の友好関係を盛り上げるイベントが開催されると共に、政治・外交的には昨年 11 月末のトウオン国家主席訪日タイミングに於いて「包括的戦略的パートナーシップ」に格上げされ、両国の関係が新たな局面へ移行した年でした。私にとっては 1999～2002 年の赴任時以来、約 20 年ぶりにベトナムに再赴任し、仕事や生活を通じて、変わらぬベトナムの活気や人の優しさに触れた年でした。事業面においては、「コロナ渦」による制約がなくなったことにより、日本からの専門家の派遣や日本へのベトナム人研修員の往来も活発に行われるようになり、技術協力事業が再活性化されました。

また、有償資金協力(円借款)に関しても、承諾額が 2016 年以降久しぶりに 1,000 億円を超える等、ベトナムの新型コロナ後の経済の回復及び依然として高いインフラ整備のニーズに着実に貢献しようとしています。これらの多くの実りのあった 2023 年を踏まえ、2024 年も引き続き、質の高いインフラ、人材育成、保健医療、気候変動対策等の分野の重点を置きつつ、何より、ベトナム・日本両国の人々がお互いの想いや立場を相互に理解し、築いた信頼関係のもと多くの事業を実施していきたいと考えています。これまでになく良好かつ重要な両国の関係がさらに発展していくよう引き続き力を尽くして参ります。ベトナムのパートナー機関を含め JICA を支援くださる多くの関係者の皆様には、2024 年も変わらぬご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。

## 日越外交関係樹立 50 周年記念 訪日研修参加者との交流会

2023年11月9日、「戦略的幹部研修プロジェクト」実施機関である共産党中央組織委員会(CCOP)、ホーチミン国家政治学院(HCMA)、JICAの共催で訪日研修参加者との交流会をハノイ市内にて開催しました。

ベトナム側からは、CCOP チュオン・ティ・マイ委員長、HCMA ゲン・スアン・タン学院長ら政治局員をはじめとする両機関の幹部・職員、「ホーチミン国家政治学院(HCMA)及び行政学院(NAPA)公務員研修実施能力強化支援プロジェクト」(2013年～2016年)のロップゴン(党中央委員候補者対象研修)訪日研修参加者、「戦略的幹部研修プロジェクト」(2018年～)で副大臣級及び候補者級幹部を対象に実施したナショナルリーダー訪日研修(2018年、2019年)参加者、ロップチェンルク(党中央委員候補者対象研修)訪日研修(2019年)参加者ら計61名が一堂に会しました。ロップゴン第1回訪日研修団長を務められたチャン・ホン・ハー副首相にもご参加いただきました。

日本側からは、在ベトナム日本国大使館山田滝雄特命全権大使をはじめ、JICA、日本貿易振興機構(JETRO)、ベトナム日本商工会議所(JCCI)加盟企業の代表者など64名が参加しました。また、研修講師を代表して、上記全研修にて公務員制度の講師を務められた吉田耕三 JICE(日本国際協力センター)理事長(元人事院人事官)をお招きしました。

吉田理事長やプロジェクト関係者、訪日研修参加者は久しぶりの再会を喜び、また、政治、経済、環境、教育など様々な分野のベトナム側、日本側関係者が交流する機会となりました。

JICAは引き続き、人と人との結びつきも強固にしつつ、人材育成への協力を推進していきます。

参考: HCMA HP(越語) [Gặp mặt cán bộ lãnh đạo, quản lý từng tham gia bồi dưỡng tại Nhật Bản \(hcma.vn\)](http://hcma.vn)



記念撮影

# JICA・SATREPS プロジェクトでベトナム HIV／エイズ対策に寄与した岡慎一・プロジェクトチーフアドバイザーが「国民健康貢献賞」を受賞



メダルと表彰状の授与

2023年11月24日、ベトナム保健省は、岡慎一・国立国際医療研究センター(NCGM)エイズ治療・研究開発センター(ACC)名誉センター長の功績に対し、「国民健康貢献賞」表彰式を開催しました。同賞は、ベトナムの保健医療分野において傑出した功績を残した国内外の専門家に送られるもので、岡慎一・名誉センター長の長きにわたるベトナムの保健医療分野、特にHIV/AIDS 予防・治療成績の向上に寄与した活動が高く評価されたものです。JICA のSATREPS「ベトナムにおける治療成功維持のための“bench-to-bedside system”構築と新規HIV-1 感染阻止プロジェクト」(以下「HIV プロジェクト」)の日本側リーダーでもある岡慎一・名誉センター長は、日本の HIV 感染症診療の改善や新しい治療法開発のための臨床研究、国内外の他施設との技術協力、共同研究の促進など、多大な貢献のある、日本の HIV/AIDS 分野の第一人者です。

早くから国際協力にも積極的で、NCGM と国立熱帯病病院(NHTD)を始めとしたベトナムとの協力の歴史は 2005 年にまでさかのぼり、これまでに数々の共同研究プロジェクトを通じ、ベトナムの HIV 診療、HIV 感染者への支援を実施されています。岡先生は、これら国際研究協力を開始当初からリードされ、その功績がベトナム側にも認められ、今回の表彰に至りました。また、この機会に併せ、NCGM・ACC は保健省 HIV/AIDS 局(VAAC)との研究協力覚書(MoU)に署名しました。これまでの長きにわたる NCGM・ACC とベトナムとの協力、そして岡慎一・名誉センター長のベトナム保健医療への貢献は、更に続いていくことが期待されます。

SATREPS(地球規模課題対応国際科学技術協力): 感染症対策分野においては、日本医療研究開発機構(AMED)と JICA が共同で実施する、地球規模課題の解決のために日本と現地での研究者との共同研究を通じて行われる技術協力。

## 川崎フロンターレとコミュニティの健康増進を支援

12月14日(木)、日越50周年を記念し「第5回ベトナム日本国際ユースカップU-13」(12月14日～17日)の開会式がビンズオン省新都市SORA gardens Linksで開催されました。第5回目となる本大会は、JICAも後援し、日本、ベトナム、マレーシアから計12チームが参加しました。大会中の15日(金)・16日(土)には、JICAと川崎フロンターレによる健康増進プログラムが行われました。初日の15日には、近隣で働く方々約100名が参加し、椅子を使うなどした複数の動作による体カチェックや、楽しみながらバランストレーニングができる下駄やポールを用いたウォーキングを実施しました。

参加者からは「楽しく継続的に行うことができる」「日常生活の中で、健康を意識することにつながる」「日常生活では体を動かす機会が限られる中、体を動かし健康を維持することの大切さを体感することができた」等の感想が述べられました。

本健康増進プログラムは16日(土)にもビンズオン省新都市ヒカリエリアで実施されます。

JICAはJリーグ(公益社団法人日本プロサッカーリーグ)との協力により、「SDGs及び社会課題に挑むスクール事業の海外展開」を2022年にスタートしました。ベトナムにおいては川崎フロンターレが日本国内で実践してきた、スクール事業を通じた社会貢献モデルをパイロット事業として行っています。今回実施した健康増進プログラムは事業の一環で行われ、年齢性別を問わず市民の健康増進を図り、コミュニティの生活向上を目指します。

引き続きJICAは、川崎フロンターレと協力し、スポーツを通じて地域に根差した街づくりや持続的な経済社会開発に貢献してまいります。



椅子を使った体カチェック

## 草の根技術協力事業「ハイフォン市下水処理場運転管理・浸水対応能力向上プロジェクト」の最終セミナーを開催



セミナー参加者による記念写真

2023年11月23日(木)、北九州市上下水道局、ハイフォン市建設局及びハイフォン下水道排水公社は、ハイフォン市にて事業の総括となる最終セミナーを開催し、建設省、ハノイ土木大学等、日越関係者約80名が参加しました。

本事業は、ハイフォン市の下水道に関する能力向上を目的に、2018年5月から2024年1月まで実施しており、これまで、下水処理場運転管理マニュアルの作成、浸水対策訓練を通じたノウハウの共有、市民啓発によるハイフォン市民の下水道への理解促進等の様々な成果が確認されています。

本セミナーでは、北九州市上下水道局及びハイフォン下水道排水公社がこれらの事業成果を発表し、下水処理場運転管理マニュアルの手交や浸水対策のための資機材の譲渡を行いました。また、JICA ベトナム事務所、ハイフォン市建設局、ハノイ土木大学がベトナムの下水分野について発表し、現状や課題、課題解決のために取り組んでいる事例を学ぶ良い機会になりました。本事業終了後も、両市の協力活動が継続され、ハイフォン市民の生活環境の向上につながることを期待されます。

事業概要:[vie\\_32\\_t.pdf \(jica.go.jp\)](#)

## 計画投資省とともにベトナムの中小企業振興への支援を実施

国際協力機構(JICA)と計画投資省(企業開発庁)と共同で実施する技術協力プロジェクト「中小企業振興・産業基盤強化プロジェクト」のクロージング・セレモニーが12月12日にハノイで開催されました。

本プロジェクトは3年間(2020年~2023年)実施され、ベトナムの中小企業を支援するコンサルタントの能力を向上し、ベトナムの中小企業がグローバル・バリュー・チェーンに参加できる能力を強化することを目標としています。このプロジェクトでは、1,100人以上のコンサルタントが起業支援、新規事業、日本の中小企業診断士の基礎プログラムに参加するなど、一定の成果を上げました。更に、中小企業の幹部300人以上が「クリエイティブ・リーダーシップ」の研修を受け、コロナ禍後に進む第4次産業革命による経営環境の変化に対応した企業運営のために必要な能力を身につけています。

クロージング・セレモニーでは、「持続可能な発展に向けた内発的成長のための中小企業経営力強化」をテーマとしたディスカッション・セッションやプロジェクトによる技術支援を受けた中小企業による製品展示会も開催され、中小企業間の経験共有、ビジネスマッチング、ベトナムの中小企業と日本を代表する各企業との交流などが行われました。

ベトナム政府、企業、企業支援機関と共に歩んできた3年間の道のりを終え、JICAと計画投資省が協力して実施したプロジェクトの成果と実績は、コンサルタント及び中小企業の実力向上によるグローバル・バリュー・チェーンへの参入を通じて、ベトナムの裾野産業発展の基盤となることが期待されています。

ベトナム中小企業の更なる能力向上と持続可能な発展のために、JICAは引き続きベトナム政府および各関係機関と積極的に協力を継続してまいります。



セミナーの様子